

# 令和3年度 大分県立 病院指標

印刷用PDF >>

[医療法における病院等の広告規制について\(厚生労働省\)](#)

- [1. 年齢階級別退院患者数](#)
- [2. 診断群分類別患者数等\(診療科別患者数上位5位まで\)](#)
- [3. 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数](#)
- [4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
- [5. 脳梗塞の患者数等](#)
- [6. 診療科別主要手術別患者数等\(診療科別患者数上位5位まで\)](#)
- [7. その他\(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率\)](#)

## 年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	1318	335	430	534	805	1134	2044	2918	1572	275

当院は総合周産期母子医療センターを設置しているため、年齢区分「0～」の患者数が多くなっています。  
また地域医療支援病院として、地域のかかりつけ医と連携し幅広い年齢層の受け入れを行っています。

## 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

[ファイルをダウンロード](#)

### ■ 循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2 なし	242	2.92	3.06	0.41%	70.83
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1 なし、1,2あり 手術・処置等2 なし	237	3.81	4.36	0.42%	71.32
050050xx9920xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1 2あり 手術・処置等2 なし	118	2.97	3.27	0.00%	72.51
050130xx9910xx	心不全 手術なし 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2 なし	58	10.24	14.53	5.17%	73.41
050030xx97000x	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞 その他の手術あり 手術・処置等1 なし、1あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	45	10.47	11.87	6.67%	72.89

心疾患に対してのカテーテル検査、経皮的冠動脈形成術の治療が上位を占めています。

■ 内分泌・代謝内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
10007xxxxxx1xx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)手術・処置等2 1あり	90	12.48	14.41	2.22%	59.87
10007xxxxxx0xx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)手術・処置等2 なし	22	10.05	11.15	0.00%	62.73
10006xxxxxx1xx	1型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)手術・処置等2 1あり	11	11.00	13.42	0.00%	52.82
100202xxxxxxxx	その他の副腎皮質機能低下症	-	-	10.38	-	-
100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	-	-	10.28	-	-

2型糖尿病に対しての教育入院や、インスリン治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

■ 消化器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	100	10.16	9.21	2.00%	78.93
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	78	2.49	2.65	0.00%	67.31
060035xx99x6xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 6あり	39	3.44	4.54	0.00%	67.74
060050xx99040x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病 なし	32	3.38	8.84	0.00%	54.59
060020xx04xxxx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	30	8.83	7.96	3.33%	76.07

大腸ポリープ等の良性疾患の内視鏡的治療が上位を占めています。

■ 腎臓内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
110280xx9901xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 1あり	23	12.30	13.74	13.04%	70.26
110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	21	11.62	10.39	9.52%	60.19
110280xx991xxx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1 あり	17	5.00	7.66	0.00%	42.47
110260xx99x0xx	ネフローゼ症候群 手術なし 手術・処置等2 なし	16	28.31	20.43	0.00%	64.75
110260xx99x3xx	ネフローゼ症候群 手術なし 手術・処置等2 3あり	15	3.20	4.99	0.00%	36.53

慢性腎不全、自己免疫性疾患、ネフローゼ症候群に対しての治療が上位を占めています。

■ 呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病 なし	56	4.32	9.07	0.00%	70.50
040110xxxxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等2 なし	48	15.90	18.42	14.58%	76.44
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	28	11.82	13.12	10.71%	73.93
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2 なし	19	13.63	20.57	36.84%	76.32
040150xx99x0xx	肺・縦隔の感染、膿瘍形成 手術なし 手術・処置等2 なし	15	23.53	22.84	20.00%	70.27

肺癌に対しての化学療法による治療や肺炎に対しての治療が上位を占めています。

■ 血液内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等2 2あり	41	33.37	37.46	2.44%	55.37
130030xx99x5xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 5あり	33	21.64	19.92	15.15%	70.33
130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし 手術・処置等2 4あり	31	8.48	10.12	0.00%	71.84
130030xx99x6xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 6あり	26	8.23	13.91	0.00%	62.81
130030xx97x50x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2 5あり 定義副傷病 なし	22	26.95	31.17	18.18%	65.41

悪性リンパ腫、急性白血病に対しての化学療法による治療が上位を占めています。

■ 神経内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
010080xx99x0x1	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 手術・処置等2 なし 15歳以上	34	16.91	16.74	11.76%	49.15
010160xx99x00x	パーキンソン病 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	19	15.42	17.86	42.11%	74.11
010170xx99x00x	基底核等の変性疾患 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	18	15.67	14.19	5.56%	70.00
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	17	8.24	7.22	17.65%	58.35
010110xxxxxx4xx	免疫介在性・炎症性ニューロパチー 手術・処置等2 4あり	17	22.59	16.11	17.65%	52.94

髄膜炎、脳梗塞、パーキンソン病に対しての治療が上位を占めています。  
急性期の治療が終了した後は、地域の医療機関と連携し在宅復帰を支援しています。

■ 小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
040100xxxx00x	喘息 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	41	9.27	6.24	0.00%	2.68
060380xxxx00x	ウイルス性腸炎 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	39	4.41	5.53	0.00%	5.56
040090xxxx00x	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 定義副傷病 なし	33	8.55	5.83	0.00%	0.88
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	32	6.66	7.22	3.13%	5.91
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	31	9.39	13.14	0.00%	3.45

5歳以下の入院患者さんが多く、喘息や感染症に対する治療が上位を占めています。

■ 新生児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
140010x199x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等2 なし	117	7.44	6.13	3.42%	0.00
140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処置等2 なし	56	11.02	11.01	3.57%	0.00
140010x199x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等2 1あり	43	13.79	10.48	2.33%	0.00
140010x299x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処置等2 1あり	25	22.52	20.86	4.00%	0.00
140010x197x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術あり 手術・処置等2 なし	22	7.59	7.78	0.00%	0.00

総合周産期母子医療センターを設置しているため、早産による低出生体重児や、その他の様々な疾患を持つ新生児を受け入れています。

■ 外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))等 手術・処置等1 なし	105	14.83	10.15	0.00%	66.96
060035xx99x6xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 6あり	101	3.04	4.54	0.00%	74.87
090010xx02xxxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの)	60	7.68	5.88	0.00%	57.03
060035xx010x0x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1 なし 定義副傷病 なし	46	16.04	15.76	8.70%	76.52
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	45	6.31	4.74	0.00%	69.36

「消化器外科」と「乳腺外科」の患者数を合算して集計しています。  
手術と術後の化学療法による治療が上位を占めています。

■ 整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	110	20.15	25.32	90.00%	82.02
07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む。)人工関節再置換術等	28	23.64	20.63	21.43%	71.39
160760xx97xx0x	前腕の骨折 手術あり 定義副傷病 なし	26	7.58	4.99	3.85%	63.58
160740xx01xx0x	肘関節周辺の骨折・脱臼 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿等 定義副傷病 なし	24	6.13	5.74	8.33%	16.38
160690xx99xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)手術なし	20	14.80	19.34	55.00%	72.10

大腿骨骨折や股関節症に対する治療が上位を占めています。  
急性期の治療が終了した後は、地域の医療機関と連携し在宅復帰を支援しています。

■ 形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)その他の手術あり 手術・処置等1 なし	16	4.88	4.66	0.00%	41.56
140490xx970xxx	手足先天性疾患 手術あり 手術・処置等1 なし	-	-	7.73	-	-
020230xx97x0xx	眼瞼下垂 手術あり 手術・処置等2 なし	-	-	2.94	-	-
080010xxxx1xxx	膿皮症 手術・処置等1 あり	-	-	24.40	-	-
070010xx010xxx	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)四肢・躯幹部腫瘍摘出術等 手術・処置等1 なし	-	-	5.49	-	-

脂肪腫等の良性軟部組織腫瘍に対する治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

■ 脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10未満) 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	18	15.83	18.90	61.11%	62.56
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	13	15.62	8.30	69.23%	71.08
010200xx01x00x	水頭症 水頭症手術 脳室穿破術(神経内視鏡手術によるもの)等 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	11	21.27	20.18	27.27%	72.36
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	10	16.20	9.78	40.00%	74.80
010040x199x0xx	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10以上) 手術なし 手術・処置等2 なし	-	-	22.42	-	-

頭蓋内損傷等に対する治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

■呼吸器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
040040xx97x00x	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	99	9.15	10.47	1.01%	71.01
040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病 なし	14	7.00	9.07	0.00%	64.50
040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	12	14.67	9.86	0.00%	35.42
040150xx99x0xx	肺・縦隔の感染、膿瘍形成 手術なし 手術・処置等2 なし	11	21.00	22.84	27.27%	66.55
040200xx99x00x	気胸 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	-	-	9.28	-	-

肺癌に対しての手術、化学療法による治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

■小児外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
060160x101xxxx	鼠径ヘルニア(15歳未満) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	62	2.76	2.78	0.00%	4.58
060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	25	4.80	5.40	0.00%	9.68
11022xxx01xxxx	男性生殖器疾患 精索捻転手術等	23	2.65	3.77	0.00%	4.48
140590xx97xxxx	停留精巣 手術あり	16	2.94	2.99	0.00%	3.38
180040xx99x0xx	手術・処置等の合併症 手術なし 手術・処置等2 なし	14	4.07	8.68	0.00%	17.00

鼠径ヘルニアと男性生殖器の疾患に対しての手術が上位を占めています。

■皮膚科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
080020xxxxxxxx	带状疱疹	53	8.68	9.22	0.00%	69.55
080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1 なし	40	12.60	13.07	7.50%	55.30
080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外) 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等2 なし	23	4.22	7.68	4.35%	75.04
080100xxxx0xxx	薬疹、中毒疹 手術・処置等1 なし	12	10.08	11.44	0.00%	57.42
161070xxxx00x	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	-	-	3.70	-	-

带状疱疹に対しての治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

■ 泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 あり	85	2.22	2.50	0.00%	71.05
110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等2 なし	56	5.61	7.02	1.79%	73.95
110420xx02xx0x	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等 定義副傷病 なし	36	3.28	3.99	2.78%	69.00
11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎(尿管)悪性腫瘍手術等 手術・処置等2 なし	28	9.71	10.63	0.00%	68.32
11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術 手術・処置等1 なし 定義副傷病 なし	25	6.04	5.56	0.00%	70.16

前立腺癌、膀胱癌と腎癌に対しての治療が上位を占めています。  
他科のサポートとして水腎症治療も行っているため上位を占めています。

■ 産科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
120180xx01xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 子宮全摘術等	70	10.03	9.39	0.00%	33.70
120170x199xxxx	早産、切迫早産(妊娠週数34週未満) 手術なし	28	34.32	21.53	7.14%	33.11
120160xx01xxxx	妊娠高血圧症候群関連疾患 子宮破裂手術等	24	13.75	12.77	0.00%	34.75
120170x101xxxx	早産、切迫早産(妊娠週数34週未満) 子宮破裂手術等	19	40.26	37.40	0.00%	30.32
120170x001xxxx	早産、切迫早産(妊娠週数34週以上) 子宮破裂手術等	17	15.41	13.90	0.00%	30.94

総合周産期母子医療センターを設置しているため、様々なリスクを抱えた妊産褥婦の方々の受け入れを行い周産期の管理を行っています。

■ 婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病 なし	176	4.63	4.34	0.00%	60.99
12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部(腔部)切除術等 手術・処置等2 なし	131	3.05	3.05	0.00%	40.27
120010xx99x50x	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 5あり 定義副傷病 なし	70	5.51	4.23	0.00%	61.26
120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式を含む。) 腹腔鏡によるもの等	69	6.90	6.11	0.00%	44.25
120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	67	10.49	9.46	0.00%	47.54

子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌に対しての手術や化学療法による治療が上位を占めています。

■ 眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	235	4.00	2.71	0.43%	75.91
020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	17	4.24	4.83	5.88%	75.35
020240xx97xxx0	硝子体疾患 手術あり 片眼	15	5.47	5.36	6.67%	72.33
020320xx97xxxx	眼瞼、涙器、眼窩の疾患 手術あり	13	3.46	3.11	0.00%	30.92
020280xx99xxxx	角膜の障害 手術なし	11	26.00	16.29	0.00%	67.09

白内障の手術が上位を占めています。

■ 耳鼻咽喉科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
030230xxxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	74	6.68	7.84	0.00%	27.97
030150xx97xxxx	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍 手術あり	45	7.11	7.03	0.00%	60.24
030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	31	7.19	6.47	0.00%	57.58
030390xx99xxxx	顔面神経障害 手術なし	29	8.00	9.01	0.00%	53.38
03001xxx0100xx	頭頸部悪性腫瘍 頸部悪性腫瘍手術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	26	13.04	13.07	0.00%	67.65

扁桃、アデノイドの慢性疾患に対する手術、突発性難聴に対するステロイド治療が上位を占めています。

■ 精神科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
030390xx99xxxx	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	10	19.20	3.70	10.00%	39.60
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	-	-	7.22	-	-
010230xx99x01x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 あり	-	-	22.30	-	-
161070xxxxx01x	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等2 なし 定義副傷病 あり	-	-	7.17	-	-
161070xxxxx11x	薬物中毒(その他の中毒) 手術・処置等2 1あり 定義副傷病 あり	-	-	11.50	-	-

通常、精神病棟の入院料は出来高算定であり、DPC制度の対象外です。  
入院時に救命センター等で急性期の治療を行った後に精神病棟へ転棟した症例を表示しています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。



■ 呼吸器腫瘍内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病 なし	76	5.26	9.07	0.00%	71.00
040040xx99080x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 8あり 定義副傷病 なし	33	8.21	9.01	0.00%	65.06
040110xxxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等2 なし	16	13.56	18.42	0.00%	75.44
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	14	14.43	13.12	50.00%	71.86
040040xx9903xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 3あり	13	30.31	27.01	7.69%	75.46

肺癌に対しての化学療法による治療が上位を占めています。

■ 膠原病・リウマチ内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	24	16.17	14.75	8.33%	59.79
130140xxxxx0xx	造血器疾患(その他) 手術・処置等2 なし	-	-	16.66	-	-
070470xx99x3xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等2 3あり	-	-	15.30	-	-
070560xx99x01x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 あり	-	-	24.06	-	-
070470xx99x0xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等2 なし	-	-	15.50	-	-

自己免疫性疾患に対しての治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数

[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	44	30	19	90	-	41	1	8
大腸癌	33	42	81	124	13	219	1	8
乳癌	104	67	33	27	-	113	1	8
肺癌	84	27	79	276	14	106	1	8
肝癌	-	13	43	-	-	34	1	8

※ 1:UICC TNM分類,2:癌取り扱い規約

治療開始前の癌の進行度でステージを分類しています。  
患者数には切除不能で化学療法のみを実施した患者さんも含まれています。  
化学療法の繰り返し等で同一患者さんが複数回入院することが多いので、StageIVや再発の件数が多くなっています。  
患者数が10未満の区分については「-」で表示しています。

## 成人市中肺炎の重症度別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	11	12.36	58.82
中等症	32	13.22	75.50
重症	14	16.71	80.29
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

市中肺炎とは、通常の社会生活を送っている中で発症する肺炎のことです。  
ガイドラインによる5項目(性別や年齢、脱水症状や意識障害の有無等)に対し、何項目該当しているかで重症度を分類しています。  
患者数が10未満の区分については「-」で表示しています。

## 脳梗塞の患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	87	18.89	74.02	40.21%
その他	10	32.40	77.30	5.15%

発症から3日以内の脳梗塞の患者さんが上位を占めています。  
急性期の治療が終了した後は、地域の医療機関と連携し在宅復帰を支援しています。

## ■ 循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの 等	148	2.14	2.59	3.38%	71.26
K5463	経皮的冠動脈形成術 その他のもの 等	37	1.73	2.19	2.70%	70.78
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術 不安定狭心症に対するもの 等	35	0.11	5.74	2.86%	73.83
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術 急性心筋梗塞に対するもの 等	29	0.03	12.79	13.79%	72.69
K5481	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) 高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの	25	1.04	1.92	0.00%	73.00

心疾患に対する経皮的冠動脈ステント留置術が上位を占めています。

## ■ 消化器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満) 等	69	0.28	1.33	0.00%	66.97
K688	内視鏡的胆道ステント留置術 等	58	1.52	10.53	6.90%	80.28
K635	胸・腹水濾過濃縮再静注法(CART) 等	40	0.93	6.25	10.00%	65.10
K6871	内視鏡的乳頭切開術(乳頭括約筋切開のみのもの) 等	36	2.00	7.69	8.33%	75.03
K6532	胃ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術) 等	32	0.63	7.16	3.13%	75.81

内視鏡下によるポリープ切除術や、胆道ステント留置術が上位を占めています。

## ■ 腎臓内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K61211	末梢動静脈瘻造設術 内シャント造設術 単純なもの 等	20	5.95	14.40	25.00%	73.05
K6147	血管移植術、バイパス移植術(その他の動脈) 等	-	-	-	-	-
K616-41	経皮的シャント拡張術・血栓除去術 初回 等	-	-	-	-	-
K654	内視鏡的消化管止血術(上部内視鏡) 等	-	-	-	-	-
K607-3	上腕動脈表在化法	-	-	-	-	-

透析が必要な患者さんへの内シャント設置術が上位を占めています。手術は心臓血管外科の医師が行います。患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

## ■ 神経内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K664	胃瘻造設術 等	17	22.59	17.18	64.71%	81.41
K386	気管切開術	-	-	-	-	-
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	-	-	-	-	-
K6082	動脈血栓除去術 等	-	-	-	-	-
K178-4	経皮的脳血栓回収術	-	-	-	-	-

患者さんの回復に向け、他科と連携して治療を行っています。患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■ 小児科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K809-2	膀胱尿管逆流手術	12	1.00	7.92	0.00%	0.75
K7151	腸重積症整復術(非観血的)等	-	-	-	-	-
K6261	リンパ節摘出術(長径3cm未満)	-	-	-	-	-
K5621	動脈管開存症手術(経皮的動脈管開存閉鎖術)	-	-	-	-	-
K1912	脊髄腫瘍摘出術(髄内)	-	-	-	-	-

手術は泌尿器科の医師が行い、術前術後の管理を小児科・泌尿器科共同で行っています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■ 新生児科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K9131	新生児仮死蘇生術(1度)等	76	0.00	23.00	3.95%	0.00
K9132	新生児仮死蘇生術 仮死第2度のもの等	21	0.00	105.10	4.76%	0.00
K73220	人工肛門閉鎖術(腸管切除を伴うもの)(その他)	-	-	-	-	-
K2762	網膜光凝固術(その他特殊)等	-	-	-	-	-
K5622	動脈管開存症手術-直視下	-	-	-	-	-

総合周産期母子医療センターを設置しているため、リスクのある新生児が多く出生直後の仮死蘇生術が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■ 外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	80	1.78	5.45	2.50%	68.34
K4763	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除)腋窩部郭清を伴わない等	74	1.05	11.41	0.00%	68.49
K4762	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分)腋窩部郭清を伴わない等	60	1.00	5.68	0.00%	57.03
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	46	5.41	13.35	10.87%	76.28
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)等	43	1.09	3.81	0.00%	70.26

「消化器外科」と「乳腺外科」の患者数を合算して集計しています。  
「腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術」の術前日数は2日を基本としていますが、術前に合併症の治療が長引いた症例の影響で通常より日数が長くなっています。

■ 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K0461	骨折観血的手術(大腿)(γ-ネイル)等	88	1.51	20.07	84.09%	79.63
K0821	人工関節置換術(股)(THA)等	43	1.40	21.26	20.93%	73.19
K0811	人工骨頭挿入術(股)等	39	1.92	16.56	89.74%	82.79
K0462	骨折観血的手術(前腕)等	37	2.19	10.78	18.92%	58.78
K0451	骨折経皮的鋼線刺入固定術(上腕)等	17	0.24	1.06	0.00%	7.35

骨折の観血的手術、人工関節置換術が上位を占めています。

■ 脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K1742	水頭症手術 シャント手術 等	12	3.67	16.42	25.00%	60.67
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術 等	12	1.50	17.17	50.00%	80.50
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所 等	-	-	-	-	-
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術(その他) 等	-	-	-	-	-
K1643	頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの 等	-	-	-	-	-

慢性硬膜下血腫に対する手術が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■ 呼吸器外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超える) 等	60	1.10	7.47	1.67%	72.23
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(部分切除) 等	20	1.05	5.85	0.00%	71.90
K5131	胸腔鏡下肺切除術 肺嚢胞手術(楔状部分切除によるもの) 等	11	7.18	4.36	0.00%	33.55
K488-4	胸腔鏡下試験切除術	-	-	-	-	-
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除 等	-	-	-	-	-

胸腔鏡下での肺癌の手術が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■ 小児外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側) 等	79	0.67	1.06	0.00%	4.44
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴わないもの) 等	25	0.44	3.36	0.00%	9.68
K836	停留精巣固定術	14	0.93	1.00	0.00%	2.79
K6333	臍ヘルニア手術	-	-	-	-	-
K8281	包茎手術(背面切開術)	-	-	-	-	-

腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■ 皮膚科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除 等	27	0.22	2.96	3.70%	75.56
K0062	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 長径3センチメートル以上6センチメートル未満 等	-	-	-	-	-
K0021	デブリードマン(100cm <sup>2</sup> 未満) 等	-	-	-	-	-
K753	毛巣嚢、毛巣瘻、毛巣洞手術	-	-	-	-	-
K013-21	全層植皮術(25cm <sup>2</sup> 未満)	-	-	-	-	-

皮膚癌に対する手術が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■ 泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K80361	膀胱悪性腫瘍手術(電解質溶液利用のもの)等	64	1.23	3.77	3.13%	73.78
K773-2	腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	49	1.49	10.20	2.04%	70.94
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	47	0.64	4.60	4.26%	70.55
K7811	経尿道的尿路結石除去術(レーザーによるもの)等	23	1.04	3.43	0.00%	70.91
K843-2	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	22	1.00	9.77	0.00%	67.59

膀胱癌や水腎症に対する経尿道的手術が上位を占めています。

■ 産科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K8982	帝王切開術 選択帝王切開 等	89	10.57	6.74	0.00%	32.82
K8981	帝王切開術 緊急帝王切開 等	77	7.09	7.29	0.00%	33.09
K9062	子宮頸管縫縮術(シロッカー法)等	-	-	-	-	-
K6151	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(止血術)	-	-	-	-	-
K902	胎盤用手剥離術	-	-	-	-	-

総合周産期母子医療センターを設置しているため、帝王切開分娩が必要となるようなハイリスク妊娠の患者さんの受け入れが多くなっています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■ 婦人科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K867	子宮頸部(腔部)切除術	105	0.81	1.37	0.00%	42.94
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術(両側) 腹腔鏡によるもの 等	90	1.10	4.89	0.00%	43.50
K877	子宮全摘術	85	1.81	7.68	0.00%	50.38
K879	子宮悪性腫瘍手術 等	66	2.18	13.59	0.00%	61.27
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	40	1.48	5.43	0.00%	49.93

子宮頸部(腔部)の切除術が上位を占めています。この手術は、子宮頸部の初期病変に対し診断や治療目的のために行われます。

■ 眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K28210	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの 等	253	1.02	2.05	0.79%	75.84
K2801	硝子体茎顕微鏡下離断術 網膜付着組織を含むもの 等	23	1.00	4.00	8.70%	67.61
K2802	硝子体茎顕微鏡下離断術 その他のもの	-	-	-	-	-
K2171	眼瞼内反症手術(縫合法) 等	-	-	-	-	-
K2423	斜視手術 前転法及び後転法の併施 等	-	-	-	-	-

白内障に対する水晶体再建術が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■耳鼻咽喉科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K3772	口蓋扁桃手術(摘出)等	94	0.54	5.12	0.00%	27.97
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型(選択的(複数)副鼻腔手術)等	19	1.05	6.47	5.26%	59.47
K4571	耳下腺腫瘍摘出術(耳下腺浅葉摘出術)等	19	1.11	6.26	0.00%	61.79
K3721	中咽頭腫瘍摘出術(経口腔)	14	1.00	3.57	0.00%	50.93
K3932	喉頭腫瘍摘出術(直達鏡)等	13	1.69	4.00	0.00%	67.54

扁桃、アデノイドの慢性疾患に対する口蓋扁桃手術が上位を占めています。

その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	24	0.21%
180010	敗血症	同一	18	0.16%
		異なる	29	0.26%
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	61	0.54%
		異なる	25	0.22%

「入院契機」とは入院に至った病名のことを表しています。

入院契機が「同一」とは各傷病名の治療目的で入院したものであり、入院契機が「異なる」とは本来の治療目的ではない各傷病名が入院期間の主な治療対象となったものです。

手術・処置等の合併症の主な内訳は、前回入院時の手術後の出血、消化管切除の続発的な吻合部狭窄、透析シャントの閉塞・感染等で、これには他施設由来の合併症も含まれています。また、直近の手術・処置により発症した合併症から、数年経過後に発症したもの、植え込み式電気刺激装置の機械的不具合なども含まれています。

10未満の数字は「-」で表示しています。

更新履歴

2022/09/30 公開